参考資料１

「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ｖ」調査結果の概要

（調査結果報告書から抜粋）

１．調査目的・実施状況

本調査は、令和７年度に策定する次期総合計画の基礎資料として、市民の行政ニーズや市施策への評価等を把握するために実施した。

【実施状況】

実施期間：令和６年８月 23 日（金）～９月 17 日（火）

調査対象者：15 歳以上の市民から無作為に抽出した 3,000 人

実施方法：無記名式アンケート（配付：郵送、回収：郵送または WEB）

有効回答者数：1,308 人（回答率 43.6%）

うち郵送回答 1,001 人（76.5%）、WEB 回答 307 人（23.5%）

留意点：調査結果の概要は、各設問の「無回答」を除外して集計したものを掲載している。また、本文中のカッコ内の数値は、令和元年９月に実施した前回調査（秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅳ）時のものである。

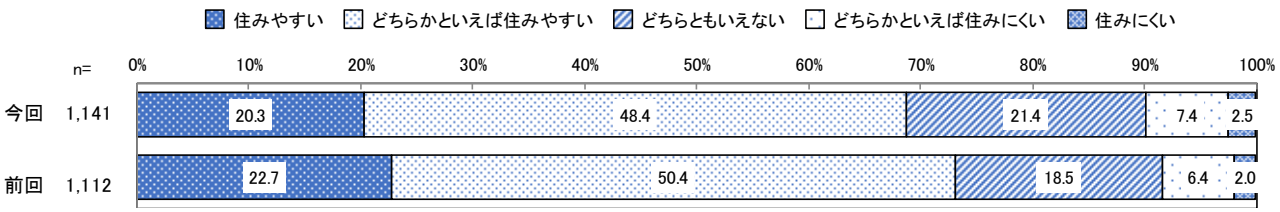
２．調査結果の要点

（１） 住みごこちについて

① 全体的な評価

「住みやすい」が 20.3%（22.7%）、「どちらかといえば住みやすい」が 48.4%（50.4%）となり、これらを合わせたよい評価の割合が 68.7%（73.1%）と、全体のおよそ７割の市民が住みやすいと感じている。一方、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の割合を合わせた悪い評価は 9.9%（8.4%）と１割以下となり、前回調査と同様、よい評価が悪い評価を大きく上回った。

【住みごこちの割合 】



② 分野別評価

分野別評価（全 31 項目）で「よい」「どちらかといえばよい」の割合の合計がもっとも高い分野は「食の安全・安心」で 49.6%（52.2%）、これに「公園や緑地、街路樹など緑の豊かさ」が 44.8%（45.1%）、「ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組み」が 44.1%（42.8%）と続き、以下は「健康診断や予防接種などの受けやすさ」、「市役所の窓口サービス」、「病院などの医療機関の利用しやすさ」の順となった。

【「よい」「どちらかといえばよい」の割合の合計が高い分野 上位 10 項目】

順位（今回）	順位（前回）	項目	「よい」「どちらかといえばよい」の割合（前回調査比）
1	1	食の安全・安心	49.6 % （－ 2.6ポイント）
2	2	公園や緑地、街路樹など緑の豊かさ	44.8 % （－ 0.3ポイント）
3	3	ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組み	44.1 % （＋ 1.4ポイント）
4	5	健康診断や予防接種などの受けやすさ	32.1 % （－ 0.6ポイント）
5	6	市役所の窓口サービス	28.2 % （－ 0.7ポイント）
6	7	病院などの医療機関の利用しやすさ	26.5 % （＋ 0.3ポイント）
7	10	まちなみなどの景観	25.3 % （＋ 2.6ポイント）
8	4	広報あきた･市政テレビ･SNSなど市政情報の得やすさ※	25.1 % （－ 8.5ポイント）
9	9	買い物のしやすさ	23.4 % （＋ 0.2ポイント）
10	12	環境保全への取り組み	20.7 % （－ 1.3ポイント）

※前回調査「広報あきたなど市政情報の得やすさ」との比較

一方、「どちらかといえば悪い」「悪い」の割合の合計がもっとも高い分野は「産業や雇用の状況」で 72.2%（69.9%）、これに「冬期の除雪」が 66.9%（62.3%）、「バス、電車などの利用しやすさ」が 62.2%（58.4%）で続き、以下は「まちのにぎわい」、「大雨、地震など自然災害への安全性」、「観光地としての魅力」の順となった。

【「どちらかといえば悪い」「悪い」の割合の合計が高い分野 上位 10 項目】

順位（今回）	順位（前回）	項目	「どちらかといえば悪い」「悪い」の割合（前回調査比）
1	1	産業や雇用の状況	72.2 % （＋ 2.2ポイント）
2	2	冬期の除雪	66.9 % （＋ 4.6ポイント）
3	4	バス、電車などの利用しやすさ	62.2 % （＋ 3.8ポイント）
4	3	まちのにぎわい	59.8 % （－ 0.7ポイント）
5	14	大雨、地震など自然災害への安全性	54.7 % （＋ 29.4ポイント）
6	5	観光地としての魅力	51.8 % （－ 1.4ポイント）
7	6	経済・学術交流などの国際化の進みぐあい	48.1 % （＋ 7.5ポイント）
8	7	レジャー･娯楽などレクリエーションのしやすさ	40.4 % （＋ 1.3ポイント）
9	9	道路の整備状況	36.5 % （＋ 6.0ポイント）
10	8	高齢者・障がい者の生活のしやすさ	33.1 % （－ 2.1ポイント）

（２） 秋田市の施策について

もっとも力を入れて欲しい施策については、「冬期の除雪」の割合が 18.7%（17.6%）でもっとも高く、次いで「雇用対策」が 9.9%（15.2%）で続いた。また、前回調査では上位５項目にはなかった「子育て支援」が今回は３位となり、ニーズの高まりがうかがえる。

【「もっとも力を入れて欲しい施策」上位５項目】

前回調査

順位	項目	割合（%）
1	冬期の除雪	17.6
2	雇用対策	15.2
3	商工業の振興や地元経済の活性化	8.6
4	バス路線の維持	7.4
5	高齢者福祉	7.0
7	子育て支援	6.3

今回調査

順位	項目	割合（%）	前回との差
1	冬期の除雪	18.7	1.1
2	雇用対策	9.9	−5.3
3	子育て支援	8.8	2.5
4	バス路線の維持	8.5	1.1
5	商工業の振興や地元経済の活性化	6.4	−2.2
8	高齢者福祉	5.2	−1.8

（３） 創生戦略事業について

① 重要度および満足度

重要度がもっとも高いのは「子どもを生み育てやすい社会づくり」、次いで「先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり」で、前回調査と順位が入れ替わった。

満足度がもっとも高いのは「芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上」、次いで「いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり」、「未来につなぐ環境立市あきたの推進」で、前回調査と順位が大きく入れ替わった。

	重要度		満足度	
	今回	前回	今回	前回
戦略1　先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり	2位　19.0	1位　29.0	5位　−21.4	5位　−38.4
戦略2　芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上	4位　7.5	4位　7.5	1位　−9.3	3位　−11.2
戦略3　未来につなぐ環境立市あきたの推進	5位　5.0	5位　−2.1	3位　−15.5	1位　−3.9
戦略4　子どもを生み育てやすい社会づくり	1位　29.2	2位　28.4	4位　−21.2	4位　−18.6
戦略5　いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり	3位　12.5	3位　10.7	2位　−12.9	2位　−11.1
平均値	14.6	14.7	−16.1	−16.6

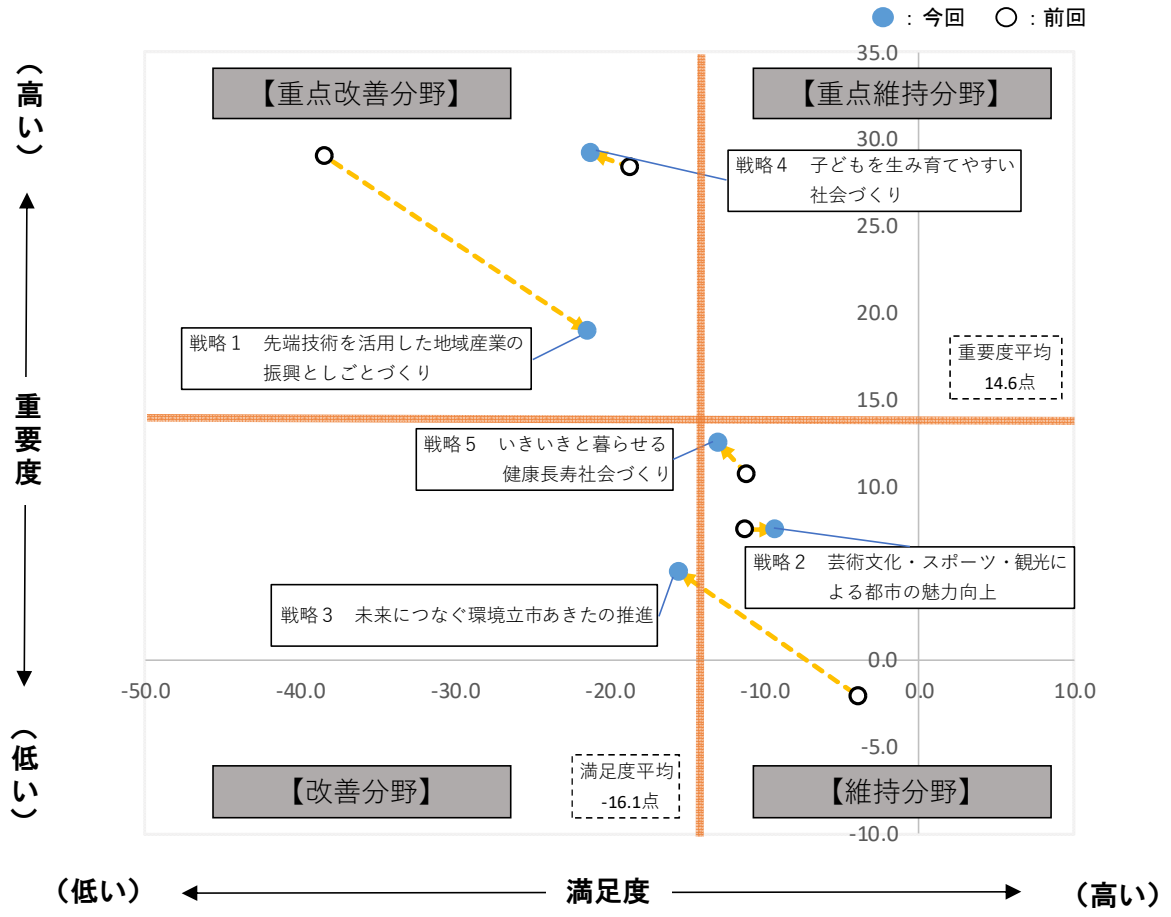
※戦略１、３の戦略名は、今回と前回で異なる。

○重要度・満足度の算出式

$$\frac{[「高い(満足)」の回答者数\times 2] + [「どちらかといえば高い(満足)」の回答者数\times 1] + [「どちらかといえば高くない(不満)」の回答者数\times -1] + [「高くない(不満)」の回答者数\times -2]}{有効回答数\times 2} \times 100$$

縦軸を重要度、横軸を満足度とする散布図において、点数を座標として置き、平均点を軸とした四象限のそれぞれを『重点改善分野』、『重点維持分野』、『改善分野』、『維持分野』とすると、「子どもを生み育てやすい社会づくり」および「先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり」は『重点改善分野』に位置しており、今後の一層の改善が求められる分野である。

また、「未来につなぐ環境立市あきたの推進」は、前回『維持分野』であったのに対し、今回は『改善分野』に位置していることから、重点化の必要性は相対的に低いものの、今後改善に取り組むべき課題である。

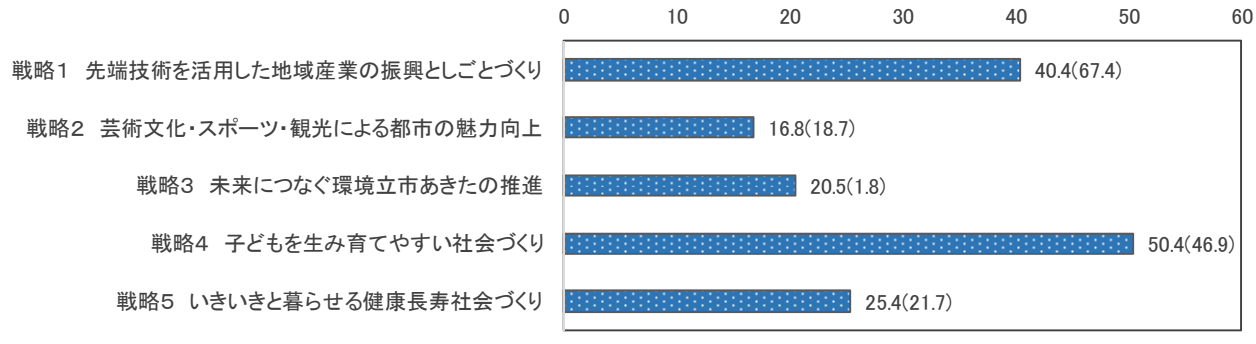


② ニーズ度

各戦略のニーズ度（※）を算出した結果、「子どもを生み育てやすい社会づくり」のニーズ度がもっとも高く、次いで「先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり」が続いた。

前回調査と比較すると、「先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり」は大きくニーズ度が減少した一方、「未来につなぐ環境立市あきたの推進」は大きく増加した。その他の戦略については、概ね前回同様の結果となった。

※ニーズ度：重要度－満足度



（４） 人口減少社会について

① 秋田市の少子化の要因

「非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入」の割合が 67.5%（66.4%）ともっとも高く、次いで「晩婚化の進行や婚姻数の減少」が 51.6%（54.5%）、「子育て費用や教育費などの経済的な負担」が 50.9%（53.5%）で続き、この３項目が５割を上回る高い割合となった。経済面に関する項目の割合が上位にあることから、経済状況が少子化に大きく影響しているとの認識がうかがえる。

【 少子化の要因として影響が大きいと思うもの（割合が高い順）】

前回調査

順位	項目	割合（%）
1	非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入	66.4
2	晩婚化の進行や婚姻数の減少	54.5
3	子育て費用や教育費などの経済的負担	53.5
4	子育てと仕事の両立に対する職場の理解不足	28.1
5	男女の出会いの機会の減少	25.5
6	子どもを預けにくい環境（核家族化の進行や保育施設・サービスの不足など）	22.0
7	夫婦や個人の生活を大切にする価値観を持つ人の増加	18.9
8	子育てや家事への配偶者の協力不足	8.8
9	その他	4.6

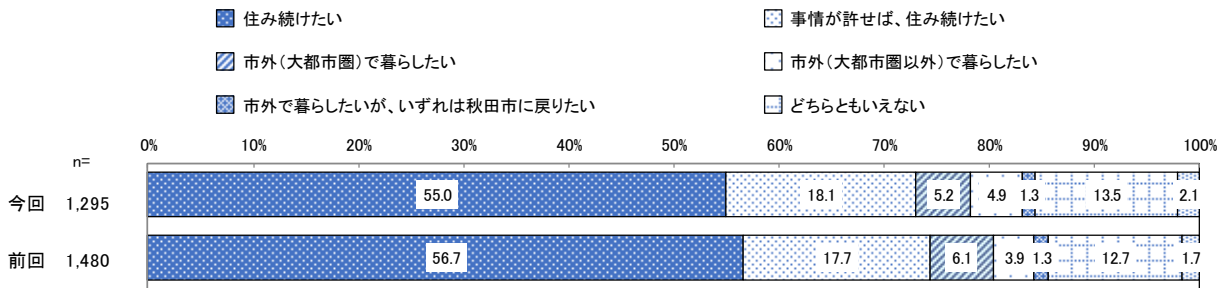
今回調査

順位	項目	割合（%）	前回との差
1	非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入	67.5	1.1
2	晩婚化の進行や婚姻数の減少	51.6	−2.9
3	子育て費用や教育費などの経済的負担	50.9	−2.6
4	男女の出会いの機会の減少	28.8	3.3
5	子育てと仕事の両立に対する職場の理解不足	24.7	−3.4
6	夫婦や個人の生活を大切にする価値観を持つ人の増加	21.5	2.6
7	子どもを預けにくい環境（核家族化の進行や保育施設・サービスの不足など）	20.7	−1.3
8	その他	8.3	3.7
9	子育てや家事への配偶者の協力不足	7.9	−0.9

② 秋田市に住み続けたいか

「住み続けたい」が55.0%（56.7%）でもっとも高く、次いで「事情が許せば、住み続けたい」が18.1%（17.7%）で、これらを合わせた割合は 73.1%（74.4%）となった。一方で、「市外（大都市圏）で暮らしたい」と「市外（大都市圏以外）で暮らしたい」を合わせた割合は 10.1%（10.0%）、「市外で暮らしたいが、いずれは秋田市に戻りたい」が 1.3%（1.3%）となった。

【秋田市に住み続けたいかの割合】



③ 秋田市に住み続けるために必要なこと

「雇用の場の確保」の割合が 54.7%（61.6%）でもっとも高く、次いで「非正規雇用など不安定な雇用の改善や収入の増加」が 43.1%（44.6%）、「若者にとって魅力のあるまちづくり」が 42.9%（48.9%）と４割台で続き、以下「高齢者向けの福祉・介護サービスなどの充実」、「子育て支援の充実」がともに２割台で続き、「子育て支援の充実」が新たに上位５項目に入った。

※選択した項目に関する自由記述の回答は、「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅴ　調査結果報告書」の121ページ～127 ページに掲載

【「秋田市に住み続けるために必要なこと」上位項目】

前回調査

順位	項目	割合（%）
1	雇用の場の確保	61.6
2	若者にとって魅力のあるまちづくり	48.9
3	非正規雇用など不安定な雇用の改善や収入の増加	44.6
4	高齢者向けの福祉・介護サービスなどの充実	29.5
5	まちのにぎわいの創出	22.9
6	子育て支援の充実	22.2

今回調査

順位	項目	割合（%）	前回との差
1	雇用の場の確保	54.7	−6.9
2	非正規雇用など不安定な雇用の改善や収入の増加	43.1	−1.5
3	若者にとって魅力のあるまちづくり	42.9	−6.0
4	高齢者向けの福祉・介護サービスなどの充実	25.7	−3.8
5	子育て支援の充実	24.6	2.4
6	まちのにぎわいの創出	23.8	0.9

（５） 市民・地域活動について

① 関心の有無と参加状況

関心の有無について、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた割合は、「スポーツ・趣味・娯楽活動」が 49.1%（53.8%）、「NPO・ボランティアなどの市民活動」が 38.3%（45.3%）、「地縁的な活動」が 32.8%（36.9%）となった。

参加状況について、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「地縁的な活動」が 29.0%（32.5%）、「スポーツ・趣味・娯楽活動」が 23.1%（27.4%）、「NPO・ボランティアなどの市民活動」が 13.2%（15.0%）となった。

【市民・地域活動への関心の有無と参加状況】

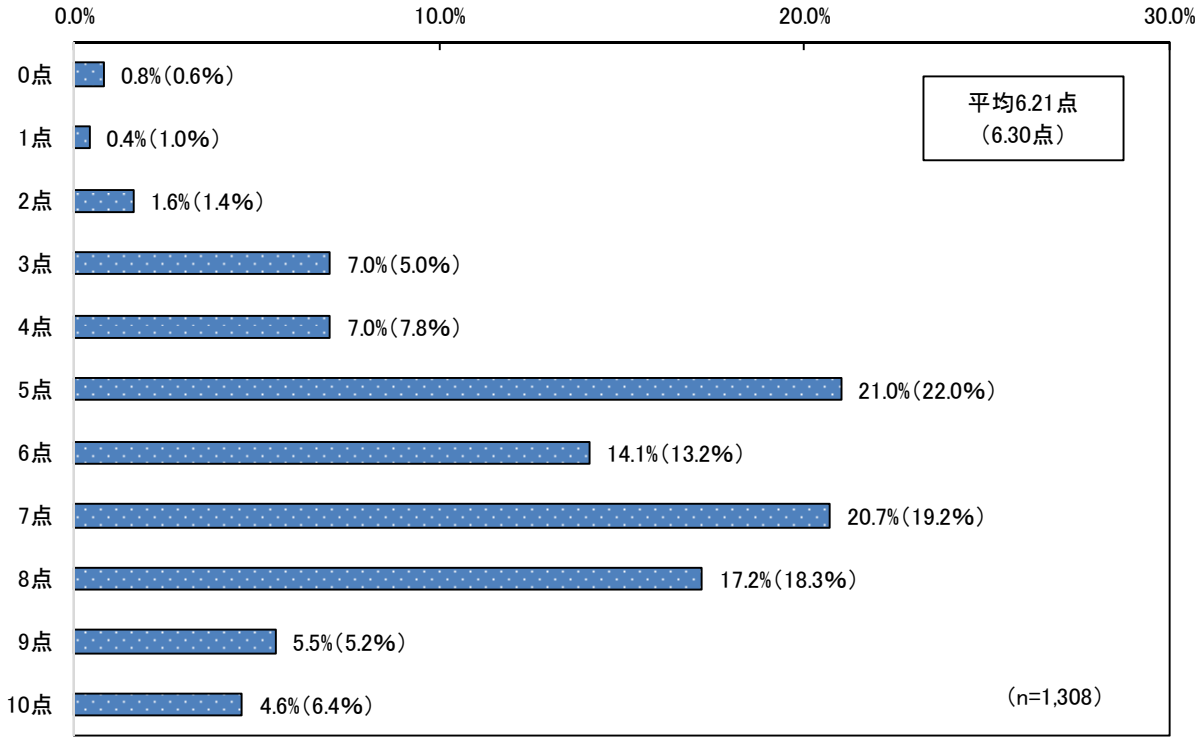
項目	「関心がある」「ある程度関心がある」の割合（%）	「積極的に参加している」「ときどき参加している」の割合（%）
NPO・ボランティアなどの市民活動	38.3 （－ 7.0ポイント）	13.2 （－ 1.8ポイント）
地縁的な活動	32.8 （－ 4.1ポイント）	29.0 （－ 3.5ポイント）
スポーツ・趣味・娯楽活動	49.1 （－ 4.7ポイント）	23.1 （－ 4.3ポイント）

（６） 幸福感について

① 現在の幸福実感

現在の幸福度について、０点（とても不幸せ）から 10 点（とても幸せ）までの点数で回答してもらったところ、「５点」が 21.0%（22.0%）でもっとも高く、次いで７点が 20.7%（19.2%）となった。無回答を除いた平均値は、6.21 点（6.30 点）となった。

【現在の幸福度】



② あなたの幸せにとって重要なこと

幸せにとって重要なことについては、「心身が健康であること」の割合が66.3%（68.2%）でもっとも高く、これに「十分な収入・消費があること」が 60.0%（55.9%）、「家族・友人関係が良好であること」が 54.8%（58.2%）と続いた。

【「あなたの幸せにとって重要なこと」上位項目】

前回調査

順位	項目	割合（%）
1	心身が健康であること	68.2
2	家族・友人関係が良好であること	58.2
3	十分な収入・消費があること	55.9
4	仕事があること、仕事が安定していること	37.6
5	便利に移動・買い物できること	33.9
7	必要なときに十分な医療・福祉が受けられること	33.9

今回調査

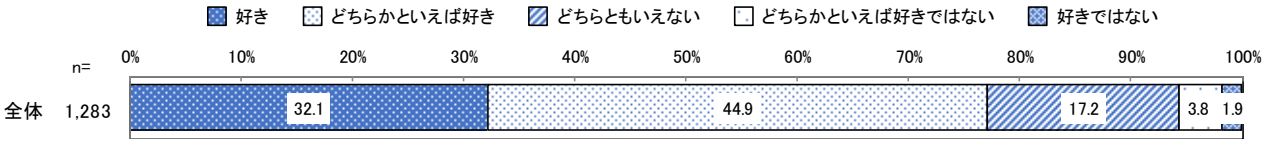
順位	項目	割合（%）	前回との差
1	心身が健康であること	66.3	−1.9
2	十分な収入・消費があること	60.0	4.1
3	家族・友人関係が良好であること	54.8	−3.4
4	便利に移動・買い物できること	38.8	4.9
5	必要なときに十分な医療・福祉が受けられること	34.3	1.7
6	仕事があること、仕事が安定していること	33.3	−4.3

（７） 秋田市の総合的な魅力発信について

① 秋田市が好きか

「好き」が 32.1%、「どちらかといえば好き」が 44.9%で、これらを合わせた割合が 77.0%と８割弱を占めている。一方、「好きではない」が 1.9%、「どちらかといえば好きではない」が 3.8%で、これらを合わせた割合が 5.7%と 1 割未満となった。

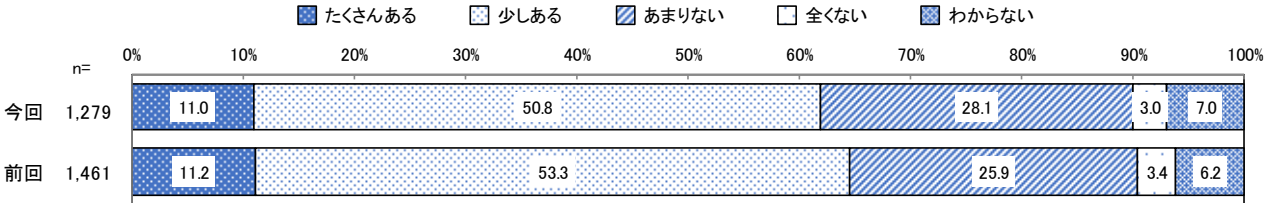
【秋田市が好きかの割合】



② 市外の人におすすめしたい・自慢したい秋田市の魅力等の有無

秋田市の魅力や良いところについては、「たくさんある」が 11.0%（11.2%）、「少しある」が 50.8%（53.3%）で、これらを合わせた割合は 61.8%（64.5%）と６割程度であった。一方で、「あまりない」が 28.1%（25.9%）、「全くない」が 3.0%（3.4%）で、これらを合わせた割合は 31.1%（29.3%）と３割程度であった。

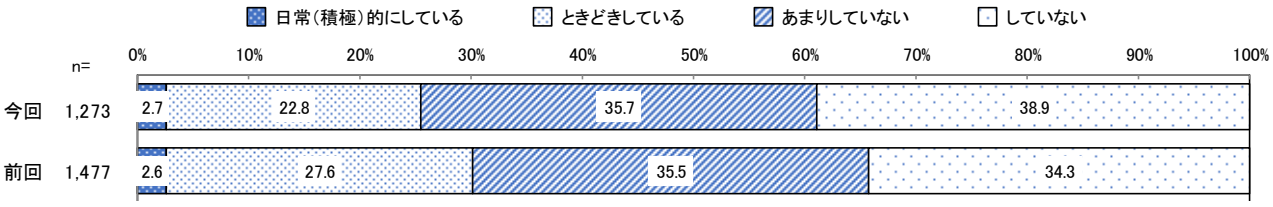
【秋田市の魅力等の有無】



③ 市外の人への魅力発信の状況

秋田市の魅力や良いところを市外の人におすすめ・発信しているかについては、「日常（積極）的にしている」が 2.7%（2.6%）、「ときどきしている」が 22.8%（27.6%）で、これらを合わせた割合は 25.5%（30.2%）となった。一方で、「あまりしていない」が 35.7%（35.5%）、「していない」が 38.9%（34.3%）で、これらを合わせた割合が 74.6%（69.8%）となった。

【市外の人への魅力発信の状況】



④ 秋田市の魅力等を市外の人におすすめ・発信するために必要なこと

「秋田市の魅力や良いところをたくさん知っている」の割合が 52.5%（49.4%）でもっとも高く、次いで「秋田市ならではのブランド（モノ・コト等）がたくさんある」が 50.8%（52.0%）で続き、この２項目が５割以上で高い割合となっている。

【「秋田市の魅力等を市外の人におすすめ・発信するために必要なこと」上位５項目】

順位（今回）	順位（前回）	項目	割合
1	2	秋田市の魅力や良いところをたくさん知っている	52.5%（＋ 3.1ポイント）
2	1	秋田市ならではのブランド（モノ・コト等）がたくさんある	50.8%（－ 1.2ポイント）
3	3	秋田市に関する新しい情報や発見を得られる媒体がたくさんある	39.8%（＋ 4.1ポイント）
4	4	秋田市をおすすめ・発信する際に使用できる冊子やウェブサイトなどがある	33.0%（＋ 0.5ポイント）
5	5	おすすめ・発信できる手段や機会がたくさんある	25.6%（－ 2.3ポイント）

⑤ 市外の人におすすめしたい、自慢したい秋田市の魅力等

市外の人におすすめしたい、自慢したい秋田市の魅力等として自由記述形式で回答いただいたところ、608 人から 1,138 件の回答をいただいた。なお、１つの回答で複数の分類にわたる内容の場合もあるため、分類項目別の合計件数は回答人数を上回っている。

分類項目	件数	特徴的なコメントや傾向
1 豊かな資源	**633**	**千秋公園や竿燈まつり、ミルハスのコメントが多い**
a 食（含む安全） 酒	166	米や野菜などの食、日本酒のコメントが多い
b 自然 観光地 公園	258	千秋公園、大森山動物園のコメントが多い
c 芸術 文化	49	ミルハスなど中心市街地の文化施設のコメントが多い
d 祭り イベント歴史	123	竿燈まつりのコメントが多い
e 街並み 建物 施設	37	千秋公園のお堀の景観の街並みなどが評価されている
2 人とのつながり	**60**	**人とのつながりや市民の人柄に関するコメントが多い**
f 人とのつながり	60	人柄の良さや穏やかな市民への好感度が高い
3 安心快適な暮らし	**320**	**災害・犯罪の少なさなどから感じる住みやすさのコメントが多い**
g 治安の良さ	19	犯罪の少なさによる安心な暮らしが評価されている
h 災害	29	最近の災害を意識したコメントが多い
i 生活 住みやすさ	86	程よい都市機能などから感じる住みやすさが評価されている
j コンパクトシティ（中心市街地）	31	駅周辺の施設に関するコメントが多い
k 買い物 飲食店	49	店の多さや交通の利便性と関連したコメントが多い
l 娯楽趣味	20	温泉やスキーに関するコメントが多い
m 交通	22	アキカの導入や道路の混雑の少なさが評価されている
n スポーツ	14	プロスポーツに関するコメントが多い
o 子育て 教育	19	教育環境が評価されている
p 行政サービス等	15	ごみ処理や窓口サービスを評価されている
q 医療 介護	16	病院の多さやアクセスのしやすさが評価されている
4 産業・雇用	**1**	**コメントが少ない**
r 産業 雇用	1	求人の多さが評価されている
5 要望課題	**114**	**ポテンシャルを活かした施策への期待や自慢したいものがないとのコメントが多い**
6 その他	**10**	**なにもないことが魅力といったコメントがあった**
合計件数	1,138	